

香川県の地震

令和8年（2026年）5月

香川県の地震活動

震央分布図、断面図	・・・	1
地震概況	・・・	2
香川県の地震表（震度1以上）	・・・	2
震度分布図	・・・	3

南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会調査結果

（令和8年（2026年）6月5日）	・・・	4
-------------------	-----	---

地震一口メモ

津波の特徴について	・・・	5
-----------	-----	---

この資料の震源リスト・震源要素（緯度、経度、深さ、マグニチュード）は暫定値であり、後日再調査の上修正されることがあります。

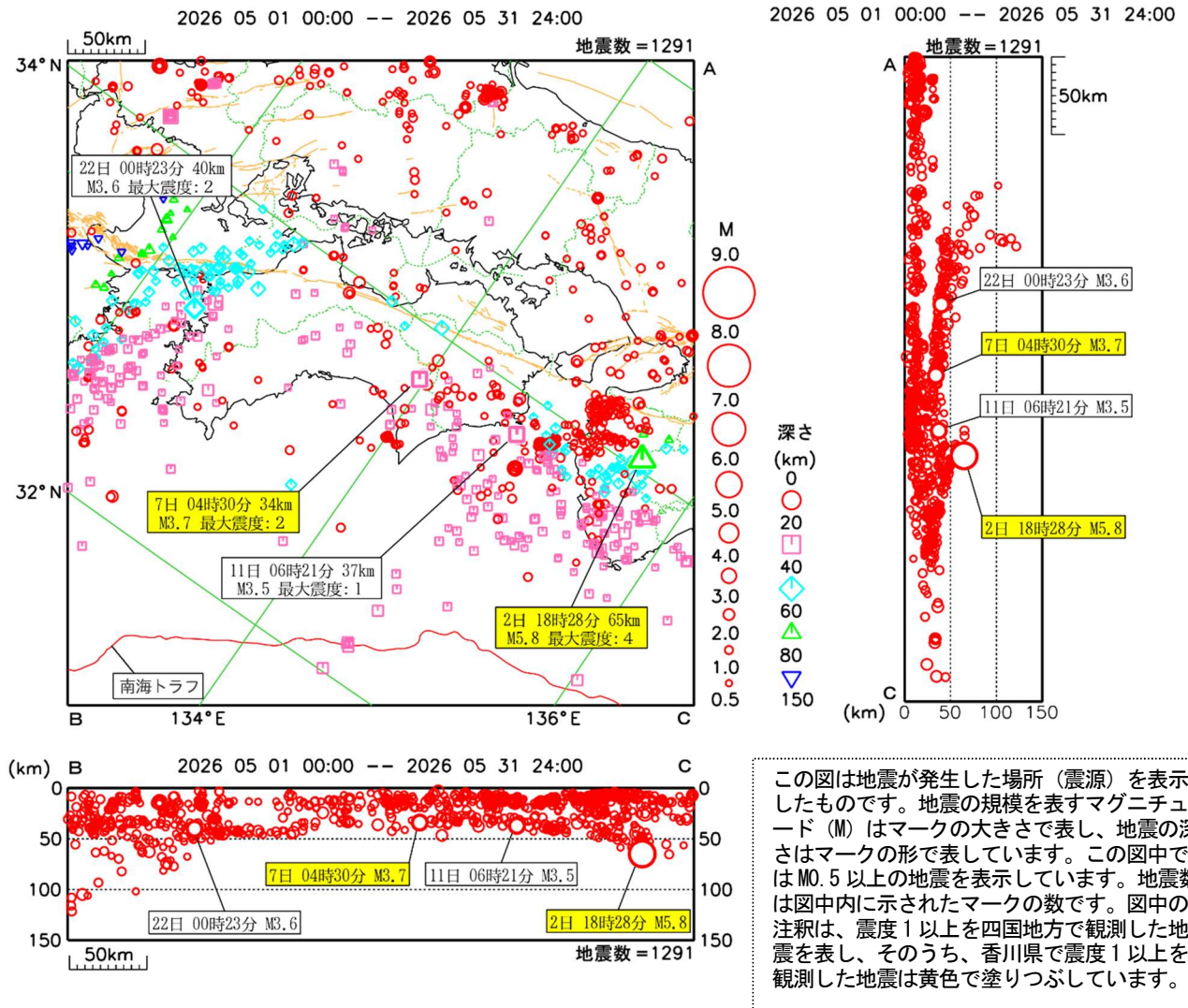
本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

高松地方気象台

【香川県の地震活動】

2026年5月

◎震央分布図、断面図



〔左上：震央分布図、右上：A-Cを投影面とした断面図、左下：B-Cを投影面とした断面図〕

◎地震概況

香川県で震度1以上を観測した地震は、次の2回でした（前月は4回）。

2日18時28分 和歌山県南部の地震（深さ65km、M5.8）により、土庄町で震度3を観測したほか、高松市・東かがわ市・三木町・さぬき市・小豆島町・丸亀市・坂出市・善通寺市・観音寺市・宇多津町・琴平町・多度津町・三豊市・まんのう町・綾川町で震度2、直島町で震度1を観測しました。この地震では、三重県・奈良県・和歌山県で震度4を観測したほか、関東・東海・甲信越・北陸・近畿・中国・四国・九州地方にかけて震度3～1を観測しました。

7日04時30分 高知県中部の地震（深さ34km、M3.7）により、多度津町で震度2を観測したほか、高松市・丸亀市・坂出市・観音寺市・宇多津町・琴平町・三豊市・まんのう町・綾川町で震度1を観測しました。この地震では、高知県馬路村・香南市・香美市で震度2を観測したほか、徳島県、愛媛県、高知県、岡山県で震度1を観測しました。

四国で震度1以上を観測した地震（上記の地震を除く）は、次の2回でした。

11日06時21分 紀伊水道の地震（深さ37km、M3.5）により、徳島県石井町・美馬市・牟岐町・那賀町、和歌山県御坊市・湯浅町・日高川町で震度1を観測しました。

22日00時23分 豊後水道の地震（深さ40km、M3.6）により、愛媛県宇和島市、高知県宿毛市で震度2を観測したほか、愛媛県で震度1を観測しました。

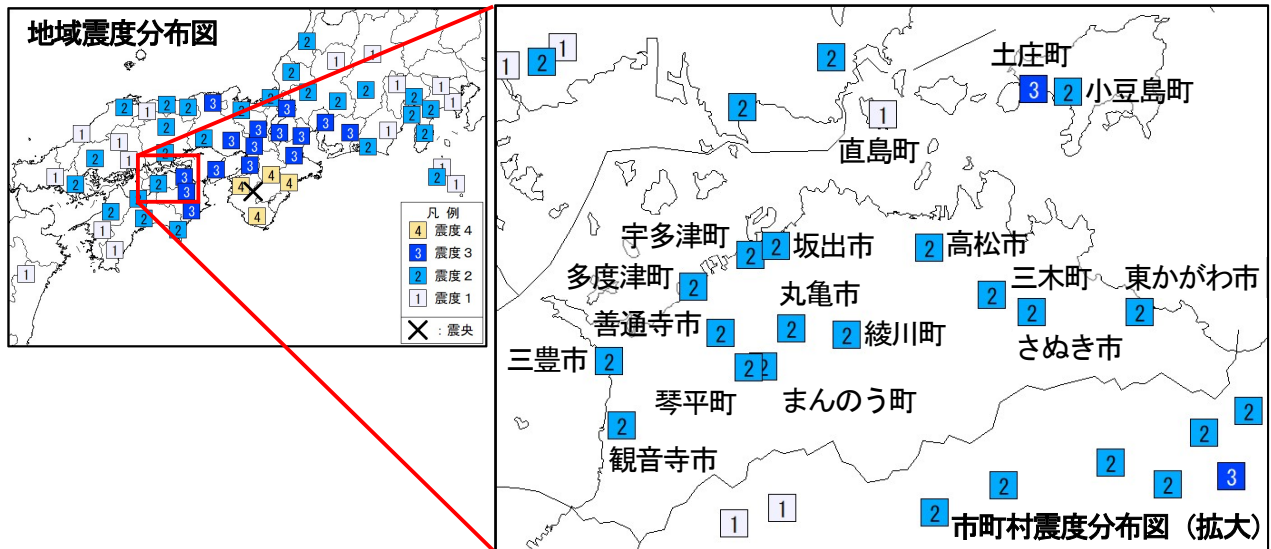
◎香川県の地震表（震度1以上）

震源時（年月日時分） 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
2026年05月02日18時28分 香川県	和歌山県南部	34°03.7' N	135°33.4' E	65km	M5.8
震度 3：土庄町淵崎					
震度 2：	高松市伏石町，高松市扇町*，高松市香川町*，高松市庵治町* 高松市国分寺町*，高松市牟礼町*，東かがわ市西村，東かがわ市南野* 東かがわ市湊*，三木町氷上*，さぬき市長尾総合公園*，さぬき市志度* さぬき市寒川町*，さぬき市長尾東*，さぬき市津田町*，小豆島町池田* 小豆島町片城*，丸亀市綾歌町*，丸亀市飯山町*，丸亀市大手町* 坂出市久米町*，善通寺市文京町*，観音寺市坂本町，観音寺市瀬戸町* 観音寺市豊浜町*，宇多津町役場*，琴平町榎井*，多度津町家中，三豊市仁尾町* 三豊市三野町*，まんのう町吉野下*，綾川町山田下*，綾川町滝宮*				
震度 1：	高松空港，高松市塩江町*，高松市香南町*，高松市番町*，東かがわ市引田* 土庄町大部*，直島町役場*，さぬき市大川町*，小豆島町馬木* 丸亀市新田町*，坂出市王越町，観音寺市大野原町*，多度津町栄町* 三豊市豊中町*，三豊市財田町*，三豊市山本町*，三豊市高瀬町* 三豊市詫間町*，まんのう町造田*，まんのう町生間*				
2026年05月07日04時30分 香川県	高知県中部	33°42.9' N	133°57.7' E	34km	M3.7
震度 2：	多度津町家中				
震度 1：	高松市扇町*，高松市国分寺町*，丸亀市新田町*，丸亀市綾歌町* 丸亀市飯山町*，丸亀市大手町*，坂出市久米町*，観音寺市坂本町 観音寺市瀬戸町*，宇多津町役場*，琴平町榎井*，多度津町栄町* 三豊市豊中町*，三豊市高瀬町*，三豊市三野町*，三豊市詫間町* まんのう町生間*，綾川町山田下*，綾川町滝宮*				

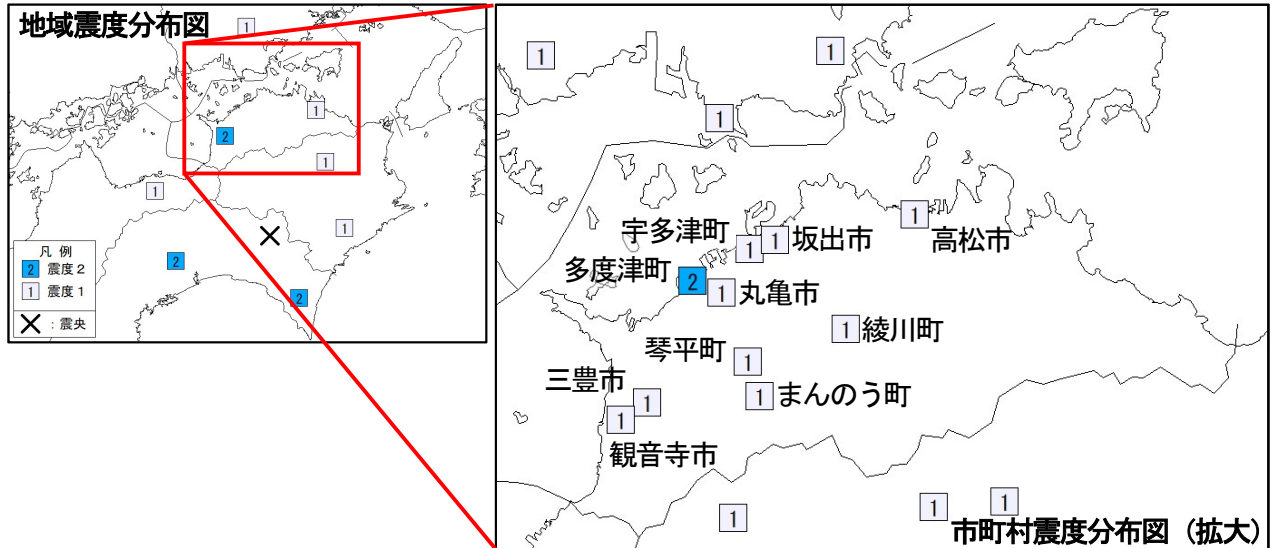
*は気象庁以外の震度観測点

◎震度分布図

2026年05月02日18時28分 和歌山県南部の地震



2026年05月07日04時30分 高知県中部の地震



【南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会調査結果】

気象庁では、大規模地震の切迫性が高いと指摘されている南海トラフ周辺の地震活動や地殻変動等の状況を定期的に評価するため、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催しています。

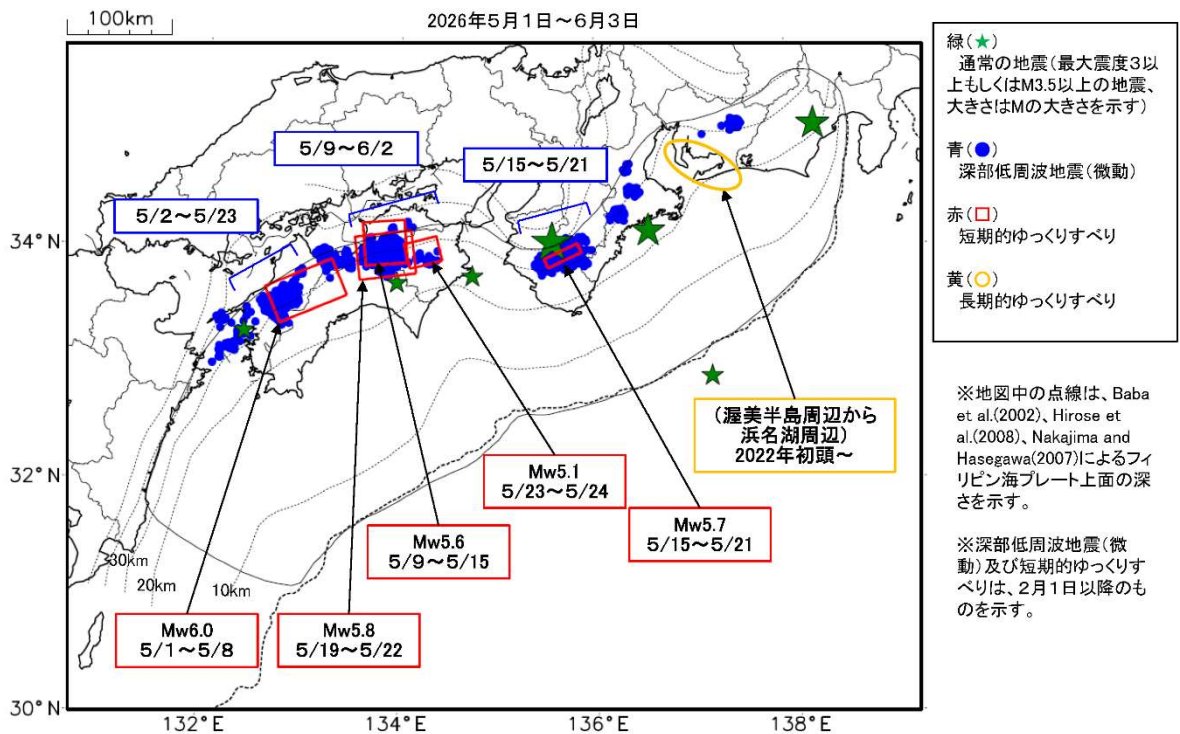
令和8年(2026年)6月5日に公表された評価検討会で評価された調査結果は次のとおりです。

【調査結果 (概要)】

現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時(注)と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

(注) 南海トラフ沿いの大規模地震(M8からM9クラス)は、「平常時」においても今後30年以内に発生する確率は高い(詳細は「南海トラフの地震活動の長期評価(第二版一部改訂)」参照)と評価されており、昭和東南海地震・昭和南海地震の発生から約80年が経過していることから切迫性の高い状態です。

【最近の南海トラフ周辺の地殻活動】



通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上).....気象庁の解析結果による。
深部低周波地震(微動).....(震源データ)気象庁の解析結果による。(活動期間)気象庁及び防災科学技術研究所の解析結果による。
短期的ゆっくりすべり.....【四国西部、四国東部(2-1)～(2-2)、紀伊半島中部】産業技術総合研究所の解析結果を示す。
【四国東部(2-3)】気象庁の解析結果を示す。
長期的ゆっくりすべり.....国土地理院の解析結果を元におおよその場所を表示している。

気象庁作成

上図の深部低周波地震(青●)、短期的ゆっくりすべり(赤□)、長期的ゆっくりすべり(黄○)について、これらの現象は、プレート境界の固着状況の変化を示す現象と考えられることから、気象庁は、関係機関の協力も得ながら注意深く監視しています。

なお、詳細は、次の気象庁報道発表資料をご参照ください。

南海トラフ地震関連解説情報について —最近の南海トラフ周辺の地殻活動—

<https://www.jma.go.jp/jma/press/2606/05b/nt20260605.html>

また、最新の南海トラフ地震に関連する情報は次のページ(URL)をご参照ください。

ホーム>防災情報>南海トラフ地震関連情報

<https://www.jma.go.jp/bosai/nteq/>

【地震一口メモ】

津波の特徴について

海底下で大きな地震が発生すると、断層運動により海底が隆起もしくは沈降します。これに伴って海面が変動し、大きな波となって四方八方に伝播するものが津波です（図1）。

「津波の前には必ず潮が引く」という言い伝えがありますが、必ずしもそうではありません。地震を発生させた地下の断層の傾きや方向によっては、また、津波が発生した場所と海岸との位置関係によっては、潮が引くことなく最初に大きな波が海岸に押し寄せせる場合があります。津波は引き波で始まるとは限らないのです。



図1 津波の発生のしくみ

津波は、海が深いほど速く伝わる性質があり、沖合ではジェット機に匹敵する速さで伝わります。逆に、水深が浅くなるほど速度が遅くなるため、津波が陸地に近づくにつれ、減速した波の前方部に後方部が追いつくことで、波高が高くなります（図2）。

水深が浅いところで速度が遅くなるといっても、人が走って逃げ切れるものではありません。津波から命を守るためには、津波が海岸にやってくる様子を見てから避難を始めたのでは、避難が間に合いません。

海岸付近で地震による強い揺れや弱くても長い揺れを感じたら、または、大津波警報や津波警報、津波注意報が発表されたら、実際に津波が見えなくても、速やかに避難を開始しましょう。

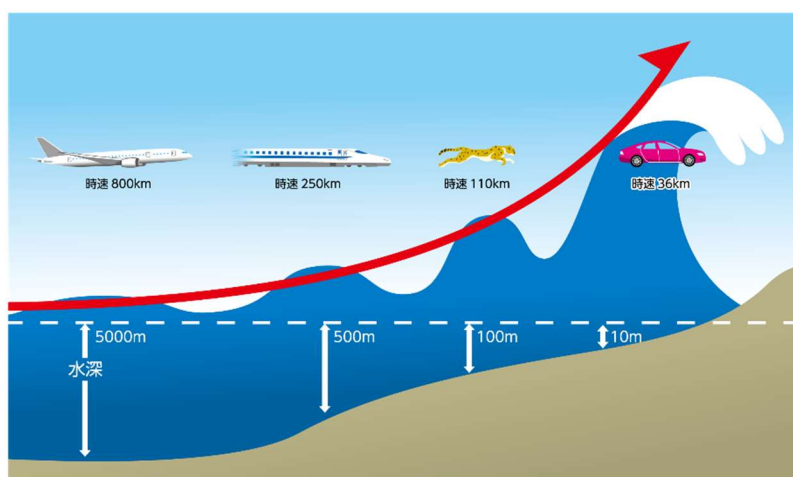


図2 津波の伝わる速さと高さ

津波の高さは海岸付近の地形によって大きく変化します。さらに、津波が陸地を駆け上がる（遡上する）こともあります。岬の先端やV字型の湾の奥などの特殊な地形の場所では、波が集中し波高が高くなるので、特に注意が必要です（図3）。

津波は反射を繰り返すことで何回も押し寄せたり、複数の波が重なって著しく高い波となることもあります。このため、最初の波が一番高いとは限らず、後で来襲する津波のほうが高くなることもあります。

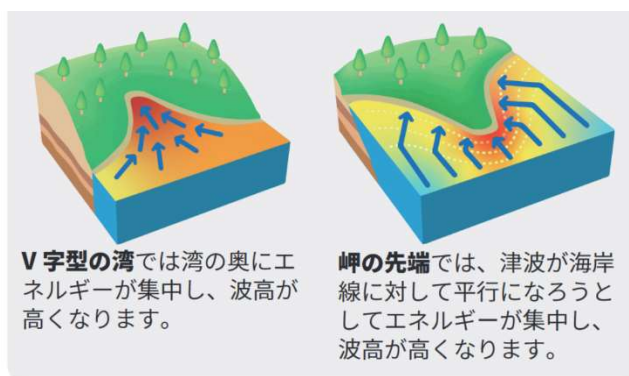


図3 地形による津波の増幅の例